

10th July, Wednesday –
28th October, Monday 2019

2019 夏季特別展

ようこそ、紅子の庭へ

welcome to Kouko's garden

深沢紅子は、上京して岡田三郎助のもとで油彩画を学び、一水会展、女流画家展などに作品を発表するかたわら、戦前から訪れていた軽井沢をこよなく愛し、1964年から20年ほど堀辰雄 1412 番山荘を夏のアトリエとして、軽井沢高原に咲く多くの野の花を数多く描きました。
今回は、紅子が軽井沢で描いた野の花の水彩・油彩作品約50点などを通して、野の花のように生きることを願った、深沢紅子の自然や人間に対するやさしさに満ちたまなざしをご紹介します。

深沢 紅子 (ふかざわ こうこ)

深沢紅子「野の花」油彩 1983年8月、軽井沢にて

1903年 岩手県盛岡市生まれ
1919年 盛岡高等女学校卒業。
13歳頃から池田龍甫に日本画を習っていたため東京女子美術学校(現在の女子美術大学)日本画科に入学。
1921年 油絵科に転科。岡田三郎助に師事。
1923年 同校卒業。同郷の画家深沢省三と結婚。
1925年 二科会展に初入選。
1937年 第1回一水会展に出品。
1947年 第1回女流画家展に出品。
1949年 一水会優賞受賞。

1952年 一水会委員となる。
戦後、盛岡短大・自由学園等で美術の指導にあたる。
1964年 この頃から約20年、軽井沢の堀辰雄 1412 番山荘で夏を過ごし、高原の野の花を多く描く。また、戦前・戦後を通じ堀辰雄、立原道造、津村信夫ら文学者と交流し、本の装幀なども数多く手がける。

1980年 深沢紅子展(岩手県民会館)
1985年 深沢紅子展 親しい人 優しいひとたち(日本橋高島屋)
1992年 深沢紅子野の花展(軽井沢高原文庫)
1993年 深沢紅子展(練馬区立美術館)
3月25日、山中湖山荘にて死去 90歳
1996年 7月、軽井沢に深沢紅子野の花美術館開館。
9月、盛岡に深沢紅子野の花美術館開館。

イベント 野の花さんぽ 2019
五感で楽しむ軽井沢の里山 軽井沢タリアセン
四季折々に塩沢湖畔に咲く花や植物たちを花の専門家がお案内いたします。

日時：7月27日(土) 8月24日(土)
9月28日(土) 各13時~15時頃
料金：1,500円(2回目以降は1,000円)
小中学生500円 未就学児無料
※軽井沢タリアセン入園料を含む



「野の花さんぽ」の様子
塩沢湖畔にて。2019.6.29

定員：15名程度 <<要予約>>
講師：軽井沢サクラソウ会議・自然観察指導員
集合：深沢紅子野の花美術館
ご予約：受付は随時。FAX、電話で受け付けます。
FAX: 0267-45-6466 TEL: 0267-45-3662 (深沢紅子野の花美術館)



軽井沢1412番山荘で、紅子(右)と省三
1982年8月18日



軽井沢1412番山荘ベランダで絵を描く紅子
1983年8月26日

アクセス

写真提供=りんどう文庫、宮崎陽子
JR北陸新幹線・しなの鉄道「軽井沢駅」下車、タクシー約10分、または、しなの鉄道「中軽井沢駅」下車、タクシー約7分。
上信越自動車道・碓氷軽井沢ICより車で約15分。
<急行塩沢湖線>7/14~通年「軽井沢駅北口バスターミナル④番」→「塩沢湖」下車(有料410円)、徒歩5分
<町内循環バス 東・南廻り線>通年「軽井沢駅北口バスターミナル①番」→「塩沢湖」下車(有料200円)、徒歩5分



深沢紅子野の花美術館

Kouko Fukazawa Nonohana Museum

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉 217 Tel. 0267-45-3662 Fax. 0267-45-6466 http://www.karuzawataliesin.com

2019 夏季特別展 「ようこそ、紅子の庭へ」
7月10日(水) ~ 10月28日(月) 9:00 ~ 17:00
入館料/大人 700円 小中学生 400円 会期中無休

次回展示
10月30日(水) ~ 2020年1月14日(火)
「墨の世界」展